

## 令和6年度 農山漁村振興交付金(農福連携型) 事業実施主体 評価一覧

### 1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(農福連携型のうち農福連携支援事業)及びの農山漁村発イノベーション整備事業(農福連携型)の事業について、農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2291号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の3の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した東北農政局管内の5地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。その結果、優良と認められる地区が4地区、良好と認められる地区が1地区との評価結果となった。

### 3. 各地区の評価結果

5件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東北	青森県	平川市	株式会社きりん				●	●	■			A	計画上の取組の実施、及び目標数字の達成をふまえて総合評価をAとした。 漆の苗木1000本が無事に越冬できたことは今後の販売に弾みがつく出来事だと思われる。 また地元誌や地元TVに取り上げられたことで地場の認知度が向上し、販売につながったことも弾みがついた。これらの成功を活かし、今後も販売拡大に繋がると期待が持てる。
東北	岩手県	八幡平市	株式会社HORSE&MUSH				● ★	●	■ ◆			A	計画された取組は全て実施され、目標も概ね達成されていることから総合評価はAとした。 目標のうち売上については、少し届かなかったものの前年度を大きく上回った。商品流通やふるさと納税返礼品登録も進み、安定した成果が得られた。 就労については、施設外就労として受け入れたり、商品のシール貼りなどの軽作業を委託する形で目標を達成した。交流人口についても、農業体験学習やインバウンドを含む視察ツアーの実施など多面的な地域連携が評価できる。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東北	福島県	郡山市	一般社団法人 空				● ★	●	■ ◆			B	<p>計画上の取組は実施されたが、雇用目標が達成できておらず、総合評価をBとした。</p> <p>売り上げも高温障害により主力のトマトの収穫量が落ち収入減になってはいるが、地元のマルシェに積極的に参加するなど、知名度を上げつつあると思われる。</p> <p>就労者人数と売り上げが比例する事業であることから、利用者の確保を一番の課題として取り組み、地域活性につなげることを期待する。</p>
東北	青森県	六戸町	社会福祉法人 快適福祉協会					● ★	●	□ ◇		A	<p>計画された取組が実施されないものもあったが、実施体制を整備し、事業実績は全て目標を上回る実績となっており、総合評価をAとした。</p> <p>整備したきのご栽培の作業には、施設利用している高齢者の方々の積極的な参加があり、事業の目的である「高齢者のための生きがいづくり、健康づくり」の介護サービスプログラムをデザインできた点は評価できる。</p> <p>キノコの化学分析による知見を今後の栽培方法に活かしつつ、売上の目標額達成につなげることが期待される。また交流人口の拡大にも尽力されることが望ましい。</p>
東北	秋田県	横手市	農事組合法人 みずほ					●	● ★	□ ◇		A	<p>計画された取組は全て実施され、目標の雇用・就労、売上げ、交流人口の全てが達成されていることから総合評価はAとした。</p> <p>農産物加工センターの建設および機械設備設置が完了し、利用者のための作業場の環境が整備されるとともに、作業面でみても選別と袋詰め作業の品質向上と作業効率向上を両立する方法を習得してきている。整備された施設を活用した今後の取組みに期待したい。</p>

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)  
 ハード対策 ☆●交付対象年度(計画) ★●交付対象年度(実施済) ◇●目標年度(計画) ◆●目標年度(実施済)  
 重点指導 ▼●重点指導(通知) △●重点指導(結果報告予定) ▲●重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調 評価対象外●評価対象外

#### 4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2291号農林水産省農村振興局長通知)別記5の第9の3の規定に基づき、第三者機関である「東北農政局農山漁村振興交付金評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

##### 【評価委員会 委員】

委員長:中村 勝則(岩手大学教授)

委員:横田 純子(特定非営利活動法人 素材広場 理事長)、渡辺 理絵(山形大学准教授)

##### 【令和7年度評価委員会の開催概要】

評価委員会

- 1 日 時 :令和7年8月19日(火) 13:30~15:30
- 2 場 所 :仙台合同庁舎A棟6階第1会議室
- 3 議事概要
  - (1)事業評価の考え方について
  - (2)評価対象地区について
- 4 主な意見  
特になし